



も
も
と
と
ウ
イ
ン



美術作家



高嶺格

初の本格舞台作品



Dance & Theater Performance

もっとなが = りん

構成・演出 高嶺格

高嶺格 TAKAMINE Tadasu

美術作家として、1990年代初頭より、パフォーマンスやインスタレーション、ビデオから工芸的手法まで、多彩なアプローチの作品を発表してきた。「性」の問題などにも触れながら、異なる背景や価値観を持つ他者への相互理解を志向するプロセスを表現し、社会的、政治的と捉われがちなテーマを概念や感情のレベルではなく、自らの生身の身体をもって理解しようとする緊張感ある作品を発表している。また、ダンスタイプのパフォーマーとして「S/N」などの作品に出演したほか、パットシェパ舞踊団（イスラエル）、ダニエル・イン（香港）、Noism（芸術監督・金森稔、新潟）をはじめ、演出家・振付家とのコラボレーションも多く手掛けている。京都造形芸術大学／映像・舞台芸術学科客員教授。

インタラクティブ・サウンドシステム

前林明次 MAEBAYASHI Akitsugu

身体と環境の接点としての「聴覚」や「音」に焦点をあて、体験の「場」としての作品を提示している。ICCビエンナーレ'97においてAudible Distanceが準グランプリを受賞。1998年にはアルスエレクトロニカ98（リンツ）において入賞する。99年に発表したSonic Interfaceは聴覚の変化が知覚に及ぼす影響を作品化したもので、秋葉原TV2（東京）、DEAF 00（ロッテルダム）、Villette Numerique（パリ）、futursonic（マンチェスター）等で紹介される。01年にはICCの無響室で立体音響技術を利用したサウンドインスタレーション、「1/0」 distant place を発表。京都造形芸術大学／映像・舞台芸術学科助教授。

出演 松室美香

MATSUMURO Mika

幼少の頃より空想癖あり。女優の道に憧れるが、ダンスに出逢い軌道修正する。1997年以降、ジャズダンスを基点にしながら、様々なジャンルで踊り、その横断的な活動から生まれるポキャブラリーは非常に幅広い。国内にとどまらず、海外の作品にも出演／振付を行っている。2001年から新潟にてダンスカンパニー「Noism」に所属。05年以降フリーランスとなり、写真や詩をとり入れた新たな活動に足を踏み出している。

出演 ヒポカンポス

Hippocampus

若手だが、今後の活動を非常に期待される演劇集団。グループ名は「海馬」を意味し、さまざまなキャリア／アイデアの集合体である。本公演の高嶺とのコラボレーションにおいて初めて「集団」としての全貌を現すことになるが、両者の間からなにが生まれ出ることが見どころだろう。なにせ禁じ手を厭わない作風がウリだ。

舞台監督 石田昌也

照明 吉本有輝子(真昼)

音響 加藤陽一郎(SFC)

舞台美術 高嶺格+ヒポカンポス

特殊照明 松本祐一



アイホール グループ コラボレーション VOL.40

関西を拠点とするパフォーマンス・アーティストとの共同製作事業

Take a chance project 012

Let's try to do something although there is a large risk of danger or failure!

2005年9月10日(土)7:00pm
11日(日)3:00pm

*開場は開演の30分前。開演1時間前より受付開始、入場整理券を発行します。
*未就学児童の入場はご遠慮ください。

■料金 一般: 前売2,500円/当日2,800円
学生: 前売2,000円/当日2,300円

■チケット発売日 7月8日

■前売取扱 ・電子チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
0570-02-9966 [Pコード:362-893]
0570-02-9999 [オペレータ予約]
・JCDNダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/>
(オンラインチケット予約サービス)

■会場・前売取扱・お問合せ

AI-HALL
アイホール

(JR伊丹駅前)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
TEL: 072-782-2000 FAX: 072-782-8880
<http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/>
aihall@juno.ocn.ne.jp



■助成 (社)私的録音補償金管理協会 (Sarah)
Asahiアサヒビール芸術文化財団

■京都芸術センター制作支援事業

■平成17年度文化庁芸術拠点形成事業

■主催 伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団

